

公明党議員団視察報告書

2018年6月14日

貝塚市議会議長 殿

参加者 北尾 修
中山 敏数
前園 隆博

■視察先

静岡県焼津市

日時 平成30年5月31日(木) 午後1時～3時

場所 焼津市消防防災センター

面談者 議会事務局 種本庶務課長、防災部地域防災課 川村課長、増井主幹、鳥澤主査の計4名

視察内容 ドローンを活用した防災対策について

焼津市としては、平成28年4月にドローンを活用した防災航空隊「BLUE SEAGULLS」を発足されました。

■経緯

- ・平成27年7月9日に発生した大雨により、全長約20m、斜度45度、集落からの距離280mの地点である花沢地区（高草山）で土砂崩落が発生。
人的及び物的被害は無いが、今後、さらに崩落し沢に土砂が流入した場合、集落への影響も考え、市や地域役員は警戒していた。
- ・平成27年7月12日深夜、住宅裏の山林で土砂崩落発生との119番があり、翌朝まで3世帯が避難。朝になり、消防本部の協力により梯子車で上空より状況確認を試みたが思うように接近できず、梯子も伸長できなかった。
- ・「災害対策本部機能の強化」と「災害情報の見える化」の推進を目的に無人航空機1機を導入したのち、機動指揮車に搭載し常時出勤可能な体制とした。
- ・平成27年11月、運用体制の強化を図るため1機を追加配備。2名操作が可能な大型機を導入し、安全面・機能面を強化。
- ・平成28年3月、DJI-JAPAN社より1機の寄贈を受け、3機体制となり更なる体制強化を図る。
- ・平成28年4月、危機管理部（当時）に各部局の職員を加え、15名体制の「防空航空隊」を発足し、今後、パイロットの知識・技能の育成を行い、さらなる体制強化を目指す。

■狙い

① 行政にとって

視覚的に災害状況を捉えることで、迅速な被害状況の把握や、適切な応急対策の検討が速やかに行える。

② 住民にとって

視覚的に情報を住民に提供することで、危機意識が高まり、具体的な備えや避難行動につながる。

■焼津市のドローンによる飛行内容

- ・災害現場の状況把握・・・防災
- ・防災訓練や水防演習・・・防災/河川
- ・住民説明用撮影（スマート IC やラウンドアバウト）・・・道路
- ・消防活動（要救援者検索、活動状況把握）・・・消防
- ・訓練レイアウト検討・・・消防
- ・説明会支援（離岸堤や堤防）・・・河川
- ・工事状況確認（土砂災害）・・・農政
- ・パンフレット活用・・・農政/観光
- ・プロモーション動画・・・文化財
- ・建設予定のロケーション確認・・・港湾
- ・防災学習・・・教育
- ・公民館イベント・・・社会教育
- ・公園緑地レイアウトの検討・・・自治会
- ・施設損耗確認やレイアウト検討・・・資産管理
- ・火災現場調査・・・消防/警察
- ・救助資機材の搬送・・・消防/防災

■課題

【機材面】

- ・モデルチェンジにより飛躍的に安全性や運動性が向上するものの、製品の開発スピードが早く、追いつくのが大変
- ・モデルサイクルが2～3年。バッテリーも含めて販売がなくなるため、定期的な更新が必須
- ・バッテリーの形状が異なり、機体間での共用ができない
- ・雨天に飛行可能な機体は「産業用」となり、機体・保険とも高額
- ・ズームカメラが高額

【運用面】

- ・操縦体制の確立
- ・高額になる人材育成費用（民間講習では1人あたり約10万円～40万円）

- ・ 人事異動により操縦者の変更と繰り返される育成
- ・ 通常業務とのバランス
- ・ 運用ルール、機体、関連産業など、日進月歩の状況に関する情報収集

以上がドローンを活用した防災対策についての概要です。

本市としても、せんごくの杜防災広場の平時利用施設として、貝塚市立ドローンフィールドの整備を行い、この4月にオープンいたしました。

一般社団法人ドローン測量教育研究機構とドローンフィールドの高度利用化に関する覚書を締結し、同機構のご協力を得て測量基準点を設置しました。これにより今後のドローン測量に関する能力検定等の普及促進に活用されます。

これを機に平成30年5月27日、オープニングセレモニーを開催したところであります。

今後も、ドローンは防災をはじめ「焼津市のドローン飛行内容」に列挙したように、多岐にわたる活用が期待されますので、焼津市の事例も参考にしながら、ドローンの導入推進ならびにドローンフィールドの有効利用を訴えてまいります。

終了後、1階に設置されている、体験防災学習室“しえ〜る”を見学させていただき1日目の視察を終えました。



(ドローンによる撮影)



(焼津市役所の方と写真撮影)

■視察先

岐阜県海津市

日時；平成 30 年 6 月 1 日(金) 13～15 時

場所；海津市役所

面談者；林真治部長/産業經濟部

山本明美課長、小粥課長補佐、黒田氏/産業經濟部商工観光課

伊藤尚幸局長/議会事務局

米山一雄/議会総務課

■内容；観光アプリ「海津のお宝場所探し」について

海津市は岐阜県の最南端にあり、木曾川、長良川、揖斐川が流れ、観光資源に恵まれた市です。滞在型観光を目指して、国の地方創生交付金の 300 万円を活用して、観光アプリの開発を行いました。ダウンロード数はまだ 402 と少ないのが課題であり、他の観光企画と合わせて宣伝を行っています。

アプリの詳細

アプリをダウンロードして、毎月公表されるお題に沿って風景を見つけ、写真を投稿する。入賞したら商品が発送されます。

実際に今月のお題の場所にも行ってきました。



新感覚★観光アプリ
海津のお宝場所探し
写真を投稿して賞品をGET!
毎月公表されるヒントを参考にお題の風景を見つけ、写真を投稿してください。
一斉早く、そっくりに撮れるのは誰!?

〈宝探し〉ゲーム感覚で楽しく「海津市」を散策
ダウンロードはこちらのQRコードから

1 毎月公表のお題をCHECK
毎月1日毎週お題が公開されます。海津市にある「お宝」スポットの毎週お題が公開されています。お題の場所を探し出すのが目的です。お題は毎月変わります。

2 お題の場所で写真を撮り...
お題に沿った風景を撮影し、アプリにアップロードします。お題に沿った風景を撮影し、アプリにアップロードします。

3 写真を投稿! シェアして審査を待とう。
アプリに写真を投稿し、審査を待ちます。審査員が選んだ写真が、Twitterでシェアされます。

4 果たしてあなたの写真は入賞できるか?
入賞した写真が賞品が送られます。毎月決まった賞品が送られます。毎月決まった賞品が送られます。

Twitterでシェア!

毎月挑戦! 入賞を目指そう!

海津市 (産業部商工観光課) 岐阜県海津市海津町高須515 TEL:0584-53-1374 (直通)
http://www.city.kaizu.lg.jp https://www.facebook.com/city.kaizu/

また、海津市の観光推進取組みとして、下記のスタンプラリーなどがあります。興味ある取組みだと思えます。

御花印ラリー



(海津市の方々と写真撮影)

■感想；海津市は農業と観光の町とのことで、アプリの開発以外にも、スタンプラリーや日本百名月プロジェクトを始め、様々な観光資源の取組みを行っています。様々な工夫とアイデアに感心しました。

本市としても海津市の取組みを参考にして、本市の観光資源の活用をどのようにすべきか検討していきたいと思えます。

以上